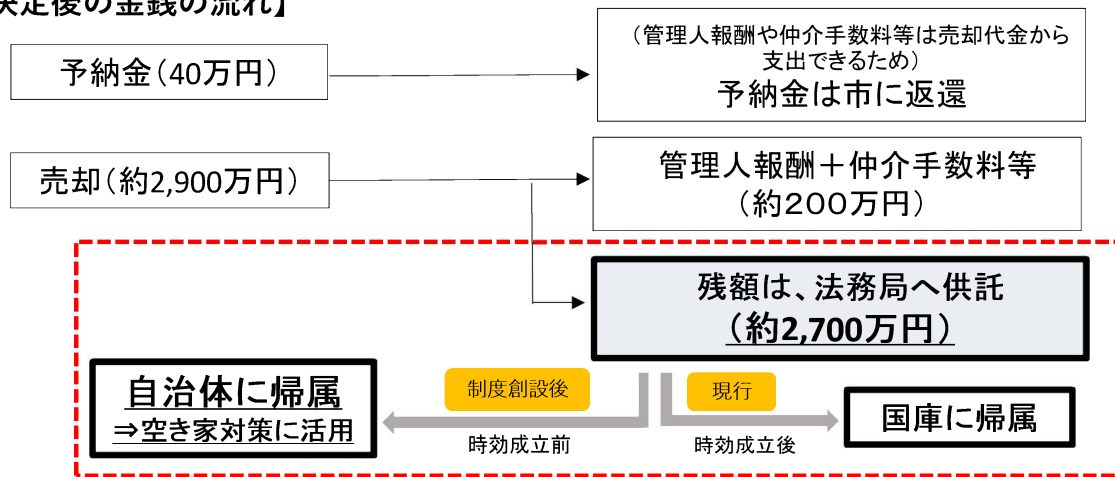


1. 高額の供託金が発生した事例

所 在：神戸市中央区 土地：約70㎡ 建物：約105㎡（木造2階建）
 経 緯：令和6年6月 通報（ゴミ屋敷） 所有者は令和6年4月死亡、相続人不存在
 令和6年10月 所有者不明土地建物管理命令を請求（予納金40万円）
 令和7年3月 土地建物を現状有姿で不動産会社に売却（売却額約2,900万円）

【売却決定後の金銭の流れ】



関係者の許諾が必要なため、
HP上では写真非公開

【案件A】
（接道）幅員10m公道
（用途）近隣商業地域



【案件B】
（接道）幅員3m私道
※再建築困難

2. 制度創設による効果

高額で売却される案件は少数であり、多くの事案は予納金の回収も困難。
 →供託金を活用できれば、現在直面している予納金の回収が困難な案件にも活用が可能

